

サル舎 NEWS Vol.8

ワオキツネザル編

体重測定と警戒心

ワオキツネザル達の体重測定は地面に置いた体重計に全身を乗せてもらうかたちで行っています。体重計を置いて「さあ乗っておくれ」としても乗ってもらえません。嗜好性の高い特別な餌であるバナナを準備してバナナで誘って乗ってもらいます。キンカンやツクシは比較的いつも体重計に乗ってくれますが、サンゴやヨモギは体を完全に体重計の上に乗せることに抵抗があるようで前脚だけ体重計に乗せてバナナを食べます。もっとバナナを引いたら全身乗せてもらえるかな？と担当者が少しバナナを自分の方に寄せると「コッコッコ！」と警戒の鳴き声をあげて渡り木の上に避難してしまいます。回数を重ねたら慣れてくれるかなと思い、時間を見つけては体重計片手にワオ達の部屋に入っていますが中々、警戒心は緩みません。



体重計に乗ろうとしている
キンカン



シロテテナガザル編

シロマティーの小部屋

シロマティーの寝室には小部屋が付いています。夕方、餌を食べに寝室へ戻ってきたシロマティーには寝室だけでなく小部屋でも餌を食べてもらうようにしています。

治療をする等、シロマティーに近くに来てほしい時は小部屋に入ってもらふ必要があるためです。

突然小部屋を開けて中に入ってもらい扉を閉めることは難しいため、普段から練習で小部屋に入ってもらって餌を食べてもらっています。

観覧エリアからは少し見えづらい時間もあるかもしれませんがシロマティーの練習を温かく見守って頂ければ幸いです。空気の乾燥している季節は小部屋で両手足に保湿クリームを塗っている日もあります。

小部屋から出てきたシロマティーの手足はいつもよりツヤツヤしっとり輝いているかもしれません。



小部屋で夕ごはんを食べるシロマティー。

小部屋の扉が閉まっても落ち着いて食べています♪



マンドリル編

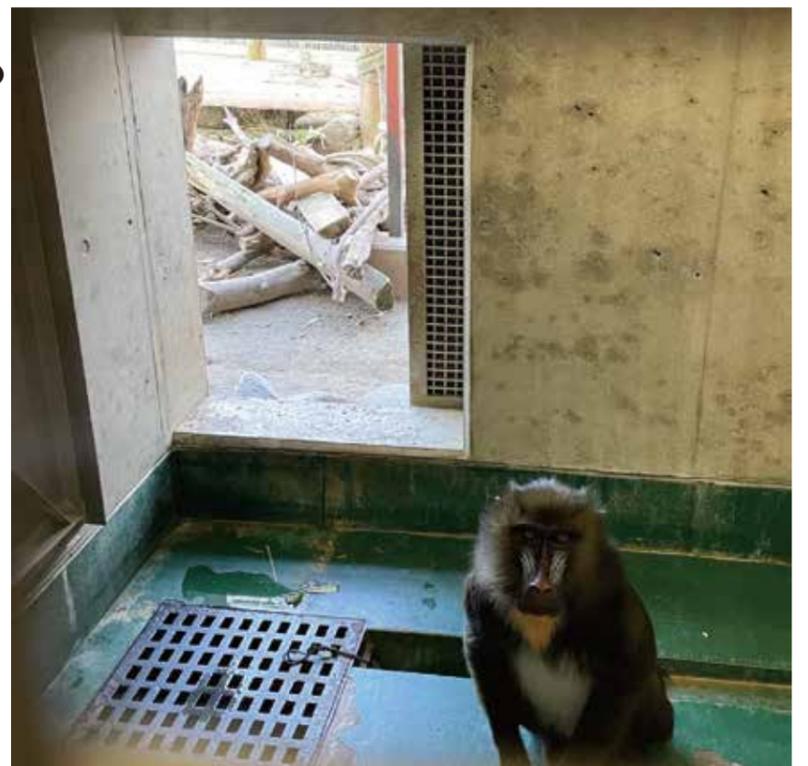


丸太事件

マンドリルたちは木を齧ることが大好きです。グラウンドには丸太や枝が転がっており、マンドリル達はそれぞれ好きな場所に持ち運んで思い思いに齧ります。天候の厳しい日はグラウンドに加えて空調の届く小部屋も解放しています。その小部屋で事件は起きました。グラウンドと小部屋を隔てる扉は引き戸で飼育員はオリの外からレバーで開閉操作をします。ある日、いつもの様に扉を閉めようとしたところ…扉のレール上に丸太が乗っており閉めようにも丸太が挟まって閉まりません。少し待っても誰も丸太を取りに来ないので鉄の棒を持ってきて丸太を押し除けることにしました。そーっと棒をオリの中へ入れてみたところ、全員集まってきて棒を凝視していました。この棒では長さが足りなかったため2人がかりでより長い棒を持ってきました。さっきより随分と長い棒とあまり見かけない？職員をマンドリル達は遠巻きに見ていました。扉は無事、閉まりました。

丸太事件の現場。

奥に見える扉に丸太が挟まりました。



フサオマキザル編



ナギサとシゲコの投薬

ナギサとシゲコには甲状腺ホルモンを補う薬を与えています。薬は錠剤をリンゴに埋め込んで与えています。渡したい個体に薬をあげるのには少しコツが要ります。群れの中には順位があります。食事の際、順位の高い個体から美味しい物にありつきます。投薬のためにリンゴを持ってフサオマキザル達の前に立つと順位の高いカンタやシゲコ、幼く無邪気なヒナタが真っ先に取りに来ます。順位の低いナギサやツヨシは遠巻きに見ています。この時、シゲコには簡単に薬を渡せるのですが遠巻きに見ているナギサに渡すのは難しいです。ナギサには他の個体にバレないようにこそっと渡します。朝の出室時、他の個体が寝室の扉が開くのを今か今かと待っている隙に素早くナギサの口元にリンゴを近づけます。ナギサがパクっとしてくれたらミッションコンプリートです。



寄ってきて
待っているナギサ



他の子達はみんな
扉を見えています